

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公表番号】特表 2019-521940 (P2019-521940A)
 【公表日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-032
 【出願番号】特願 2018-560828 (P2018-560828)
 【国際特許分類】

C 0 1 F 11/22 (2006.01)

B 0 9 B 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 1 F 11/22 Z A B

B 0 9 B 3/00 3 0 3 E

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 5 月 18 日 (2020.5.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 5 μ m ~ 3 0 0 μ m の d 5 0 平均粒径を有し、少なくとも 8 0 重量 % の C a F₂ を含有するフッ化カルシウム粒子を生成するための方法であって、

(i) 1 種以上の部分フッ素化ポリマーを含むフッ素化材料を焼却して、0 . 5 ~ 5 0 体積 % のガス状フッ化水素と、ガス状 C O₂ 及び H₂ O とを含むガストリームを供給すること、及び

(i i) 流動床反応器内で、前記ガス状フッ化水素を含むガストリームを、炭酸カルシウム粒子を含む第 1 の流動床と接触させること
を含み、前記炭酸カルシウム粒子は、少なくとも 2 5 μ m の d 5 0 平均粒径を有する、方法。

【請求項 2】

前記焼却が、第 2 の流動床反応器内で行われ、前記第 2 の流動床が、前記フッ素化材料を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記フッ化カルシウム粒子が、3 0 ~ 1 0 0 μ m の d 5 0 平均粒径を有する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記フッ化カルシウム粒子が、少なくとも 9 0 重量 % の C a F₂ を含有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 の流動床が、前記炭酸カルシウム粒子を含み、前記流動床が、前記ガス状フッ化水素を含む前記ガストリームを含む流動媒体によって生成又は維持される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記炭酸カルシウム粒子が、4 0 ~ 1 5 0 μ m の d 5 0 平均粒径を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記炭酸カルシウム粒子の 5 重量 % 未満が、 $3\text{ }\mu\text{m}$ 未満の粒径を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記炭酸カルシウム粒子が、少なくとも 90 重量 % の純度を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記炭酸カルシウム粒子が、 $0.1\text{ m}^2/\text{g} \sim 10\text{ m}^2/\text{g}$ 未満の比表面積を有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。